

## 15分・編集無しの演劇動画コンテスト

第4回 **クォータースターコンテスト****開催のお知らせ**

演劇動画ニュースサイト「エントレ」(運営:株式会社ヴィレッヂ)はWEB上で誰でも参加できる演劇動画のコンテスト「第4回クォータースターコンテスト」を2015年8月から12月にかけて開催いたします。

クォータースターコンテスト(以下QSC)は2012年に始まった演劇動画を競うコンテスト。今年の大大会で4回目を迎えます。主なルールは「12分0秒以上、15分0秒以下の動画を作る事」「1台のカメラで収録、映像編集は禁止」の2つ。作った動画をYoutubeにアップロードしてエントリーする方式なので、どの地域にいても等しく参加できるのが特徴。北海道から沖縄まで3大会合わせて247本の作品がこれまでに投稿されました。

また、各界で活躍するトップクリエイターが審査員を務めてきたのも大きな特徴です。第一回より毎回審査員として参加して頂いている演出家・作家の鴻上尚史氏、演劇ぶっく編集長の坂口真人氏をはじめ、演出家の鈴木裕美氏、映画監督の大根仁氏、吉田大八氏、行定勲氏など多彩な顔ぶれの審査員が、それぞれの個性に沿って鋭く作品を審査。

『ノミネートされれば、自分の作品を審査員に観てもらえる』と、若いクリエイターたちの大きなモチベーションになっています。※今回の審査員は後日発表。

グランプリは賞金30万円、その他にも多数の個性的な賞を用意する予定です。

**【開催概要】**

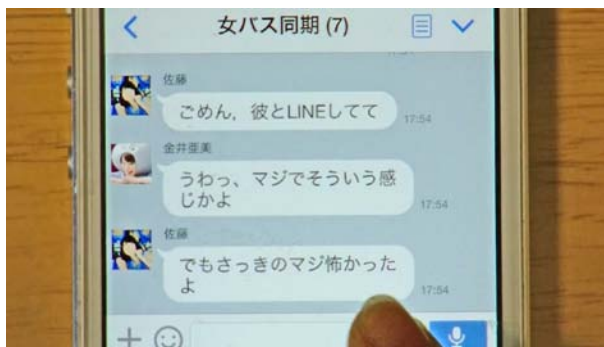
募集期間	8月3日(月)~10月30日(金)
ノミネート作品発表	11月半ば~後半を予定
結果発表&授賞式	12月5日(土)
QSC公式サイト	<a href="http://entre-news.jp/qsc">http://entre-news.jp/qsc</a>

是非、情報掲載のご協力をお願いいたします！

# 全国の演劇人・映画人が同じ土俵で戦える “演劇×動画の祭典”

クォータースターコンテスト（以下 QSC）は 2012 年に始まった演劇動画を競うコンテスト。今年の大会で 4 回目を迎える。主なルールは「12 分 0 秒以上、15 分 0 秒以下の動画を作る事」「1 台のカメラで収録、映像編集は禁止」の 2 つ。収録場所は劇場で撮る必要はなく、屋外でもかまわない。便宜上“演劇動画”としているが、これは「カメラの前で演じる演劇」であり、一方で「編集無し、ノーカットの映画」と捉えることもできるだろう。このシンプルで刺激的なルールに触発されてか、北海道から沖縄まで全国の演劇人・映画人によって作品が作られ、3 大会合わせて 274 本の作品が投稿・エントリーされた。

## 前回グランプリは“LINE 上の会話劇”



第 3 回 QSC グランプリ受賞作 週刊パラドックス「会話劇 2014」

前回大会・第 3 回 QSC のグランプリは週刊パラドックスの「会話劇 2014」という作品。動画に映っているのは LINE の画面とそれを操作する指だけという意表を突いた設定だったが、その斬新な設定以上に、LINE でやり取りする女子高生のやり取りがリアルで生々しく、最後まで視聴者を飽きさせることの無い映像に仕上がっていたことが高く評価された。

僅差で惜しくも次点（優秀作品賞）となったのは、あやめ十八番「江戸系 紅千鳥」と、モラトリアムパンツ「ヒットナンバー」。いずれも勢いのある注目の若手劇団の作品で、それぞれの劇団の良さが顕著に表れていた良作だった。第 4 回大会も個性的な作品との出会いが期待できそうだ。



（左）あやめ十八番「江戸系 紅千鳥」



（右）モラトリアムパンツ「ヒットナンバー」

## 審査員は各界を代表する著名人ぞろい！

各界を代表する人物が審査員を務めているのも QSC の大きな魅力の一つ。これまでの審査員は作家・演出家の鴻上尚史、演劇ぶっく編集長の坂口真人、演出家の鈴木裕美など現在も演劇界の第一線で活躍する方々ばかり。さらに、映画「モテキ」などで知られる大根仁監督、映画「桐島、部活やめるってよ」「紙の月」などを手掛けた吉田大八監督、「世界の中心で、愛をさけぶ」「GO」などを手掛けた行定勲監督など、映像分野の第一人者たちが審査員を務めた。

《ノミネートされれば彼らに自分の作品を観てもらえる》というのが参加者の大きなモチベーションの一つとなっていることは間違いないだろう。

※第4回大会の審査員は後日発表。

## 賞金 30 万円ほか 多彩な賞がラインナップ

さらにグランプリを獲得すれば賞金は 30 万円。さらに、げきぴあにインタビュー記事が掲載される「げきぴあ賞」、自身の公演を収録・DVD 化してもらえる「彩高堂賞」、王子小劇場を無料で借りられる「王子小劇場賞」などユニークな賞が多数ラインナップされるのも特徴的だ。

第2回大会で「王子小劇場賞」を獲得した劇団 くろいぬケンネルは、2015年1月に実際に王子小劇場を使い、舞台「幸福少女メルリン子」を上演。WEB 上のコンテストでありながら、現実の公演につながった例として大きな注目を集めた。

※第4回大会の賞は後日発表



くろいぬケンネル「幸福少女メルリン子」フライヤー

## 【第4回大会概要】

募集期間	8月3日(月)～10月30日(金)
ノミネート作品発表	11月半ば～後半を予定
結果発表&授賞式	12月5日(土)
主なルール	1) 12分0秒以上、15分0秒以下の演劇動画を作ること。 2) 1台のカメラで収録、映像編集は禁止 ※BGMはオリジナル、もしくは適切に権利処理した楽曲に限る。 ※脚本はオリジナル、もしくは適切に権利処理したものに限り。 ※劇場に限らず、野外でも撮影可。 ルールの詳細は QSC 公式サイトをご参照ください。
参加方法	撮影した動画を自身の Youtube アカウントでアップロードし、 動画 URL と必要事項をサイトのフォームから送信してください。
参加費	無料
動画作品の権利	動画作成者に帰属
QSC 公式サイト	<a href="http://entre-news.jp/qsc">http://entre-news.jp/qsc</a>

### 【運営会社】

株式会社ヴィレッジ (<http://www.village-inc.jp>)・・・劇団☆新感線の企画・製作・運営を手掛けるほか、映画館で劇団☆新感線のお芝居を上映するゲキ×シネ (<http://www.geki-cine.jp/>)、演劇 DVD 専門のオンラインショップ「イーオシバイドットコム (<http://www.e-oshibai.com/>)」などを企画・運営している。

また 2012 年からは演劇動画ニュースサイト「エントレ (<http://entre-news.jp/>)」を立ち上げ、クォータースターコンテストと共に運営中。

### 【クォータースターコンテストに関するお問合せ】

株式会社ヴィレッジ 森脇・長谷川・山谷

〒160-0022 東京都新宿区新宿 3-8-8 新宿 OT ビル 7F

TEL / 03-5361-3031 FAX / 03-5361-3032

E-MAIL / [cs\\_info@entre-news.jp](mailto:cs_info@entre-news.jp)